



2026 年 1 月 26 日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

国立大学法人北海道大学

コスモエネルギーグループと北海道大学、AI・データ解析技術の活用へ共同研究開始  
～ソリューション高度化で現場の課題解決、新たな価値創出をめざす～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「当社」）と国立大学法人北海道大学（総長：寶金 清博、以下「北海道大学」）は、先端的な AI・データ解析技術を活用した新たな価値創出に向けた共同研究（以下「本共同研究」）を 2026 年 1 月 5 日より開始しました。両者は共同研究契約を締結し、産学連携を通じて最先端技術を活用した実用的なソリューションの創出をめざします。

## ■共同研究の背景・概要

コスモエネルギーグループは、中長期ビジョン「Vision 2030」および第 7 次連結中期経営計画「Oil&New ~Next Stage~」のもと、事業競争力強化をめざしています。その実現には、安全性の確保、エネルギーの安定供給、効率化といった事業の根幹に関わる重要な課題への対応が不可欠です。

当社は、これらの課題を解決するため、先端的な AI・データ解析技術を活用した取り組みを強化しています。脱炭素化の進展や労働人口の減少など、当社グループを取り巻く事業環境は大きな変革期を迎えており、事業の安定と競争力を両立するためには、新しいアプローチが求められています。

本共同研究は、このような背景を踏まえ、先端的な AI・データ解析技術を活用した既存事業の生産性向上や次世代のエネルギー事業に向けた新しい価値創出をめざすものです。

北海道大学は、数理解析やエネルギー工学などの分野において先進的な研究を行っており、AI・データ解析技術の実社会応用を視野に入れた研究開発に強みを持っています。

北海道大学の持つ高度な AI・データ解析技術や理論的知見と、コスモエネルギーグループが事業を通して獲得してきた様々な実践的知見の融合による実証研究を通じ、操業現場における実際の課題に即した実用的かつ持続可能なソリューションを開発します。

## ■各者コメント

北海道大学 副学長/総合イノベーション創発機構データ駆動型融合研究創発拠点（D-RED）  
拠点長/数理・データサイエンス教育研究センター長 長谷山 美紀

「このたび、コスモエネルギーグループの皆さまと先端 AI 技術を活用した共同研究を開始できることを大変光栄に思います。産学連携の機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。私はこれまで、マルチメディア情報処理やデータ解析を中心に研究を進めてまいりました。本学の強みである AI・数理科学・エネルギー科学の知を結集することで、現場の課題

解決につながる新たな価値創出に貢献できると確信しております。本共同研究を通じて、持続可能なエネルギー社会の実現に向けた実用的なソリューションの創出をめざし、全学的に取り組んでまいります。」

コスモエネルギーホールディングス 常務執行役員 CDO ルゾンカ 典子

「このたびの共同研究は、当社が掲げる『Vision 2030』および『Oil & New ～Next Stage～』の実現を見据えた戦略的な取り組みです。先端的な AI・データ解析技術と、当社が現場で培ってきた知見を融合することで、操業の安全・安定供給・業務効率化に資する実用的なソリューションの創出をめざすとともに、これらを牽引できる人材の育成を推進します。脱炭素化の進展や人材構造の変化といった社会課題に正面から向き合い、持続可能な社会の実現に貢献する価値を創出していきます。」

## ■各者概要

〈国立大学法人北海道大学について〉

国立大学法人北海道大学は、総合研究大学として幅広い学術分野にわたる先端研究を全学的に推進しています。AI 技術の高度化と他分野への応用、再生可能エネルギーや資源循環をはじめとするエネルギー・環境研究など、多様な分野が連携しながら社会課題の解決に取り組んでいます。また、北海道大学は「THE インパクトランキング 2025」において世界 2,318 大学中 44 位、6 年連続国内 1 位を獲得するなど、持続可能な社会の実現に向けた総合的な研究力が国際的に高く評価されています。これらの学際的・組織的な取り組みを通じて、SDGs 達成に貢献する大学としての役割を強化しています。

〈コスモエネルギーグループについて〉

コスモエネルギーグループは、石油事業を中心に、グリーン電力や次世代エネルギーなどの事業を通じて、エネルギーの安定供給と脱炭素社会の実現をめざしています。「Vision 2030」では、製油所のデジタルプラント化による効率化、風力発電や再生可能エネルギー電力の供給を主要な戦略軸のひとつとして掲げ、DX（デジタル変革）・GX（グリーン変革）の推進に取り組んでいます。

以上